

■H25.3.2 勉強会<沼津駅周辺地区>第3回 傍聴者アンケート結果(公開「可」の記載があったアンケート)

No	本日の勉強会についてのご意見	PI プロジェクトに関するご意見
1	<p>今回は発言が聞き取れる近さでした。 改めて高架をさせないようにする発言がありました。高齢化社会の中で、バリアフリーを目指すには高架しかないことが明らかになってきたら「そんなことは分かっている。中心地にそれだけの投資をすることが問題だ。」と言ってきている。前向きな議論を阻止するのはやめてもらいたい。 ここでこんなに議論したって無駄だとも言っている。定住人口を増やすことは難しい時代なので、交流人口を増やすための投資は妥当であることを県には説明してもらいたい。</p>	
4	<p>1.傍聴席が3つのグループにより近い場所に設けられたことにより、参加した各グループのメンバーが真剣に討議していることが理解できた。 しかし、個々の発言内容が100%聴取できたわけではなく、欲求不満は依然残る。 2.勉強会に先立って配布された「沼津高架PIプロジェクト 勉強会資料」について 勉強会を始める前に、夫々のデータについての説明がほしい。 国や県そして沼津市自身も大きな借金を抱えるなかしかも税込不足が明らかな中であって尚、これだけ巨額の資金を要する事業を進めようとする以上、沼津市長自らPI勉強会に出向き個々のデータについて出席者が十分理解できるように説明するべきだ。 特に沼津市に対しては、これまで、安心安全にかかわることで市当局に要望しても、「お金がないのでできない」と言われ続けてきた経緯があるだけに、公表されている市の財政指数を文字通りに受け取ることができない。本来実施しなければならない事業で行われずにきたもの数多ありと聞く。 先立つものがない(保証されない)限り、いかなる事業も始めるべきではないと思う。 3.静岡県にとって看過できないこと 《沼津市が、静岡県が進めてきたPIプロジェクトを当初から無視してきたことが、沼津市議会で明らかになったこと》</p>	<p>「鉄道高架事業は静岡県主導のものだ」と主張してきた沼津市が沼津高架PIプロジェクトを無視している状況は異常だと考える。静岡県当局は早急に勉強会のメンバー、PI委員の諸先生方との会合を持つべきかと考える。そして、知事には、諸情勢を考慮し、この際鉄道高架事業を見直す英断を下してもらいたいと考える。</p>